

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-71C	22-062	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Baseline and lifetime alcohol consumption and risk of skin cancer in the European Prospective Investigation into Cancer and Nutrition cohort (EPIC) 欧州でのがんと栄養に関する前向き調査 (EPIC) におけるアルコール摂取量と皮膚がんのリスク		
執筆者		
Yahya Mahamat-Saleh 1, Marie Al-Rahmoun 1, Gianluca Severi, et al.		
掲載誌		
Int J Cancer. 2023 Feb 1;152(3):348-362. doi: 10.1002/ijc.34253.		
キーワード		PMID
アルコール、コホート研究、皮膚黒色腫、疫学、ケラチノサイトがん		36053839
要旨		
<p>目的: アルコールが皮膚発がんを誘発することは実験的検討により示唆されている。一方、アルコール摂取と皮膚がんとの関連に関する疫学的検討による結果は一致していない。本研究では、1992年にヨーロッパ 10 か国で開始された European Prospective Investigation into Cancer and Nutrition (EPIC) の前向きコホートにてアルコール摂取と皮膚がんリスクの関連性を検討した。</p> <p>方法: ベースライン時のアルコール摂取量と平均生涯アルコール摂取量は、検証された国固有の食事とライフスタイルのアンケートを使用して評価された。アルコール摂取量による皮膚がんのハザード比 (HR) と 95%信頼区間 (CI) は Cox モデルで推定された。</p> <p>結果: 追跡期間中 (平均 5 年)、参加者 450, 112 名のうち 14, 037 例の皮膚がん症例 (黒色腫 : n = 2, 457、基底細胞癌 (BCC) : n = 8, 711、扁平上皮癌 (SCC) : n = 1, 928、不明 : n = 941) が特定された。男性において、ベースラインのアルコール摂取量は、SCC (>15 vs 0.1-4.9 g/日 : HR=1.44、95% CI=1.17-1.77; Ptrend = 0.001)、BCC (HR=1.12、95% CI=1.01-1.23; Ptrend=0.04)、および黒色腫リスク (HR=1.17、95% CI=0.95-1.44; Ptrend=0.17) と正の関連を認めた。これらの関連は女性で弱かった。生涯のアルコール摂取量で検討した場合も同様の傾向であったが、関連は弱かった。一方、男性において、生涯の酒/蒸留酒摂取量は、黒色腫および BCC リスクと正に関連した。また、男女ともにワインのベースラインおよび生涯摂取量は、BCC リスクと関連した。飲料の種類と SCC リスクとの間に統計的に有意な関連はなかった。ビールの摂取は皮膚がんのリスクとは関連していなかった。</p> <p>結論: 本研究結果は、アルコール摂取と皮膚がんリスクとの間に正の関連があることを示唆しており、皮膚がんの一次予防に重要な意味を持つ可能性がある。</p>		